

■ ディベートとは

ディベートとは:一つのテーマについて肯定、否定に分かれて討論するゲーム
肯定派、否定派がそれぞれ審判に対して主張し、勝敗は審判が決定する

「立論」

テーマについて、肯定(賛成)・否定(反対)それぞれの立場で自分たちの意見を述べる。意見の正当性を納得させられるだけの根拠や理由も合わせて述べる。立論で提示されなかった主張・根拠を反駁や最終弁論の中で提示しても無効となる。

「質疑」

相手の立論に対する問題点・疑問点を、相手の立論(主張)をつぶすために質問すること。質問された側はそれに応答する。質疑は、一問一答形式で行う。時間管理の権利は質問する側にあり、質問する側の求めている発言がある場合には、質問者は応答をさえぎって次の質問に進むことができる。

「反駁(はんぱく)」

「相手チームの立てた主張に対する反論・批判」及び「相手チームから自チームに対して出た批判に対する反論」を行い、相手の誤りを証明し、自分達の正当性を訴える。

- ・質疑で答えられなかったことを改めて回答
- ・自説の矛盾をついた相手の質問に対する反論
- ・自分たちの立場の正統性再確認
- ・相手の論点の矛盾の指摘

「最終弁論」

反駁を含めて、最終的に自分たちの論理の正しさを整理して述べ、相手側の論理を否定し、自分たちの論理の優位性を訴え判定を求める。(立論で出していない新しい意見や主張は出せない。)

※肯定派、否定派ともに、全員が発言しなければならない。
最終弁論では、それ以前に触れられなかったことを持ち出してはならない。

■ ディベートの流れ

準備:チーム分け 1グループ●名(1チーム2名×2、審判●名) × ●
チーム毎の論理・主張を構築

<フロー>

- ①肯定側立論(3分)
- ②否定側より肯定側に対する質疑応答(2分)
- ③否定側立論(3分)
- ④肯定側より否定側に対する質疑応答(2分)
- ⑥作戦タイム(5分)
- ⑦否定側反駁(3分)
- ⑧肯定側反駁(3分)
- ⑨作戦タイム(5分)
- ⑩肯定側最終弁論(4分)
- ⑪否定側最終弁論(4分)

審査

結果発表

実施しての感想、気づき、改善点などの共有

【ゲーム中メモ用紙イメージ】 ※事例は別紙参照

■ ディベートテーマ

題目:

※肯定(賛成)派:「」
 という主張

否定(反対)派:「」
 という主張

それぞれが自分達の意見を守りつつ、相手の意見をつぶす

【メモ】